

志方町人権研修会開催

令和5年11月18日（土）の10：00から、体育館にて志方町人権研修会が開催されました。志方町では、地域を挙げて人権の学びを大切にしています。この研修会は、町内会の主催で行われ、加古川市人



権啓発推進員の方々が運営に当たります。コロナ禍が明けて、町内から多くの



方を招いて久しぶりの対面での開催でしたが、約200名ほどの方に参加していただくことができました。今年度は、実行委員会で検討して、人権作品の展示と人権作文の発表会、講演会と

いう内容で実施されました。人権作品は、標語やロゴマーク、ポスターなど素晴らしい作品が披露されました。人権作文発表会では、3小学校と中学校の代表児童生徒が、みんなの前で作文を発表してくれます。どの発表もすば





らしく、素直で実直な表現で、思いがストレートに伝わり、感動する内容で多くの方がよかったという感想を述べられていました。発表してくれた児童生徒の皆さん、いつまでもその純粋な気持ちを大切にして、相手を大切に

するという思いを育んでいってください。

その後、講演会となりました。「そうだったのか！部落問題のリアル」という演題で、3名の講師先生に講演いただきました。部落差別は、日本社会の歴史的過程で形作られた身分差別により、経済的、社会的、文化的に理不尽な



状態に置かれることを強いられてきたいわれのない人権問題です。その現状や



不合理性などについて説明いただき、正しい理解が進む一方で偏見・差別意識が依然として残っていること、インターネット上で部落差別関連情報を閲覧した者の一部には差別的な動機が見

られることなどについて教えていただきました。そのうえで、何より「学ぶ」ことの大切さを伝えていただきました。どの講演も、深い学びとなる内容で、大変感銘を受けました。



今日1日、生徒も大人も「人権」について学びを深めることができ、よい1日となりました。講師や主催者の皆さん、参加いただいた地域の皆さん、ありがとうございました。